

今日のトピック 鉄鉱石・石炭の価格動向

中国での需給好転を背景に底堅い推移

ポイント1 鉄鉱石価格は上昇 石炭価格も高水準を維持

- 鉄鋼の主原料となる鉄鉱石の価格は、2016年秋から急上昇しました。10月初旬には1トン当たり約55ドルでしたが、17年2月以降は同90ドル前後で推移しています。
- 一方、石炭価格は、鉄鋼用原材料としてのコークス製造などに利用される原料炭で見て、16年2月初旬の1トン当たり約75ドルを当面の底に上昇へと転じ、16年11月に同300ドル台に乗せました。その後は値を下げましたが、直近でも同150ドル台の水準を維持しています。

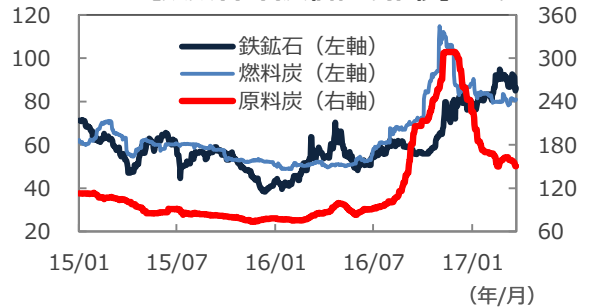
ポイント2 中国での需給が好転 能力削減等による生産抑制が寄与

- 価格上昇の背景には、最大の消費国である中国の需要の持ち直しと、同国での生産能力削減等を主因とする需給の改善があります。
- 鉄鋼需要の拡大は、社会資本整備の推進によるものです。一方、石炭は、中国政府の指導による鉱山の生産能力削減や減産が、在庫の圧縮に寄与しています。クリーンエネルギーへの転換等を目的としたものですが、むしろ最近では石炭の供給不足が顕著となり、政府は一定の条件を満たした企業について、炭鉱の年間操業日数の短縮化目標を緩和したほか、大手の石炭会社に増産命令を下しました。これが、最近の価格下落につながったようです。

今後の展開 今後も底堅い展開へ

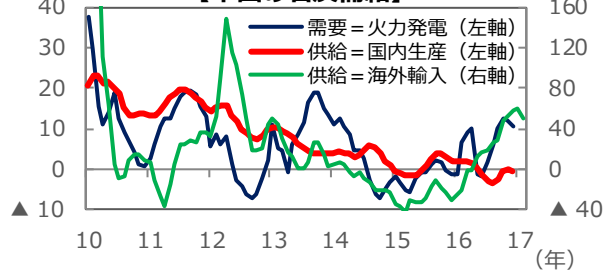
- 目先的には鉄鉱石・石炭価格とも、中国政府による産業政策・規制の影響を受ける可能性が高いと考えられます。
- 中国経済は、都市化政策の推進等を支えに安定した成長を維持する見通しです。中長期的には鉄鉱石等の資源価格も底堅い推移が予想されます。

(ドル/トン) 【鉄鉱石・石炭価格の推移】 (ドル/トン)

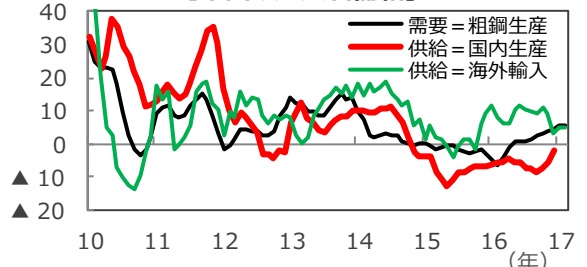


(注) データ期間は2015年1月2日～2017年3月23日(日々)。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット
マネジメント作成

(%) 【中国の石炭需給】 (%)



(%) 【中国の鉄鉱石需給】 (%)



(注1) データ期間は粗鋼生産と鉄鉱石、石炭の海外輸入が2010年1月～2017年2月、他はすべて2010年1月～2016年12月(月次)。

(注2) データはすべて3カ月移動平均の前年同月比伸び率。
(出所) 中国国家统计局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年3月22日 資源価格の上昇で輸出が拡大する豪州経済(2017年3月)
2017年3月17日 「全人代」が閉幕(中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。